

学級活動指導案〔学指要領：(2)イ〕

令和6年11月28日（木） 第5校時 6年〇組教室

授業の視点

性的マイノリティについて知り、自分の考えを対話・交流する活動を通して、考えを共有したことは、多様な性の在り方についての自分事として捉え、互いに気持ち良く生活するためにどうすれば良いか考えるための手立てとして有効であったか。

1 題材名 「性の多様性について考え、お互いの個性を尊重し気持ち良く生活するにはどうしたらいいか考えよう」

2 題材の目標

多様な性の在り方や性的マイノリティについて正しく理解し、日常生活の中にある性差などについて話し合う活動を通して、自他の性の在り方についての違いを認め、より良い人間関係を築きながら、共に生きようとするための意思決定することができるようにする。

	資質・能力
知識及び技能	・多様な性の在り方や性的マイノリティについて理解し、自他の性の在り方についての違いを認め、尊重し合う人間関係を形成することができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	・自分と友達の考えが異なっても、それを尊重し、認め、話し合う活動を通して意志決定をし、問題の解決方法を見出すことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	・自他の性の在り方についての違いを認め、互いに尊重し、協力し合うことで、より良い人間関係を形成する態度を養う。

3 題材の評価規準

知識・技能	・性の在り方は、自他ともに多様であり、自分もその中の一人であることを理解し、自己の適切な言動のとり方を身に付けている。
思考・判断・表現	・多様な性の在り方や性的マイノリティについて自分事として捉え、お互いが気持ち良く生活していくためのより良い解決方法を考え、実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・性の多様性についての話し合い活動を通して、お互いを認め合い、協力しながら自主的に課題解決に取り組み、より良い人間関係を形成しようとしている。

4 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領特別活動（2）イに示された「よりよい人間関係の形成」における題材である。また、人権教育推進資料（群馬県教育委員会発行）における学習指導要領との関連一覧表、その他の人権問題（性的マイノリティの人たち）及び国立教育政策研究所「みんなで、より良い学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」（教師用指導資料）を参考として、性の多様性について考え、自己の生き方に生かすことをねらった学習である。特に、自他の相互理解や学級での話し合

いを生かした意思決定を行うことや、当事者の経験談も交えることで、自己の目標を設定できるようにする。さらに、継続的に自分の目標を振り返ることで、多様な性の在り方や性的マイノリティに対して、自分事として自他の性の在り方についての違いを認め、尊重する意識を持ち続けられるようにしたい。

(2) 児童観について
削除

5 校内研修との関わり

今年度の本校の研修主題は「自他を尊重し、学び合い高め合える児童の育成」、副主題は「気づきや発見を自分の言葉で説明できる協働的な学びの充実を通して」である。また、目指す高学年の児童像は「根拠をもって自分の言葉で説明し、友達の考えと比較したり関連付けたりしながら考えを深めようとする児童」である。

本時では、性的マイノリティなどについて話し合い、自分と友達の考えの違いに気付いたり、尊重し合ったりすることで、考えを深めたり、互いに高め合ったりすることをねらいとしている。また、話し合い活動において、自分の考えと友達の考えを比較したり関連付けたりすることで、友達の考えのよさに触れ尊重できる態度を養いたい。

6 人権教育との関わり

本校では、児童が主体となってより良い学校を作り上げるために、児童会スローガンを設定している。今年度のスローガンは、「相手のことを思い、助け合い、一人にさせない〇〇小～心の花を咲かせよう～」である。このスローガンを受けて、各クラスでも具体目標を設定し、一人一人が友達を大切に思うことで人権意識や人権感覚を高めていく取組となっている。

本時では、性の多様性や性的マイノリティについて触れ、互いに気持ち良く生活するためにどうすれば良いかを考えることによって、自己肯定感（自尊感情・自己受容感）が高まることが期待できる。また、話し合いを通じて、自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えることで、さらに考えを深めたりする。その上で、自分に合った解決方法を意思決定する活動を行う。これらの活動を通して、性について様々な考えがあることを理解するとともに、友達の意見を尊重することで人権意識や人権感覚の高まりについて、授業を通して獲得していくことが期待できる。

7 指導と評価の計画

過程	日時	主な活動	目指す児童の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	10/15	・性に関する実態調査のアンケートを実施する。(あ)	・LGBTQ+に関するアンケートへの回答を通して、授業への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主)〈アンケート〉
本時	11/28	・性に関する認識調査のアンケート結果を共有する。 ・互いに気持ち良く生活するためにどうすれば良いか考え、これからの自分の生活で意識する目標を作る。(あ)(い)	※展開参照

事後	12/20	・本時で決めた目標について振り返る。(い)	・日常生活の中で、自分の考えが少数側の意見になることも踏まえ、学級活動や集団活動の場面で様々な考えや意見を尊重しながら生活することの大切さを考えている。(知)〈ロイロノート〉
	随時	・ロイロノートに自分の目標の振り返りを記入する。(い)	

*活用する学習支援ソフト等：(あ) Google Forms (い) ロイロノート

8 本時の学習

(1) ねらい

性の多様性や性的マイノリティについて考え、互いに気持ち良く生活するためにどうすれば良いか話し合う活動を通して、多様な意見を受け入れ尊重することの大切さを理解し、自分がこれからできることや取り組みたいことを意思決定できるようにする。

(2) 準備

タブレット、電子黒板、事前アンケートの結果、ワークシート

(3) 人権教育の視点

- 判断力：性の多様性について、様々な考えがあることを理解し、受け入れることができる。
- 実践力：性の多様性について友達の考えを認め尊重し合うことで、自他ともに大切に生きていこうとすることができる。

(4) 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な活動 予想される児童の反応〔S〕	○指導上の留意点 ◆目指す児童の姿（観点）
<p>1 性に関する認識についてアンケート結果を確認し、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>〈めあて〉性の多様性について知り、互いに認め合い、気持ちよく生活するために、どうすれば良いか考えよう。</p> <p>S：性別は男性と女性しかないのだろうか。 S：見た目で性別を決めているかもしれない。 S：写真を見て、外見で性別は判断できないことに初めて気付いた。</p>	<p>○本時に学習することについて見通しをもてるように、アンケート結果をグラフにして提示する。 【★提示】</p> <p>○見た目で判断できないことを考えられるように、トランスジェンダーの方の写真を提示し、男性か女性かを問いかける。</p>
<p>2 「男らしさ」「女らしさ」とは何か考える。(10分)</p> <p>S：男は力が強い方が良いイメージがある。 S：料理は女性ができる方が良い。 S：男は優しいほうが良い。 S：ピンクの服を女の子が着ると普通だが、男の子が着ていると変な感じがする。</p>	<p>○日常生活の中で、無意識のうちに「男らしさ」「女らしさ」の固定観念をもっていることに気付くことができるように、ワークシートに「男らしさ」「女らしさ」をイメージする語句を選び記入するよう促す。</p> <p>○性別や見た目で判断していたことを再認識できるように、自分が記入した理由に男女</p>

<p>3 性的マイノリティの方の動画を視聴し、互いに気持ち良く生活するためにどうしたら良いのか考え、共有する。(15分)</p> <p>S: 初めて性的マイノリティについて知った今後、自分が出会ったときにどうすれば良いのだろう。</p> <p>S: 今まで、性的マイノリティなどについて考えたことがなかったけど、自分と意見や考えが違って、偏見などをもたず、ありのままを受け入れることが大切なのかもしれない。</p> <p>S: 日常生活の中で、男女別に分かれていることがあるが、何のために分かれているかや分ける必要があるのかなど、考えながら生活できるようにしたい。</p> <p>S: 男女差を当たり前と考えている部分があったかもしれないから、学校生活の中でもあるか探してみたい。</p>	<p>差はないことを問いかける。</p> <p>○性的マイノリティ当事者の方の意見や考え方を理解できるように、当事者がどのような苦労や悩みなどがあったのかを意識して視聴するよう声掛けをする。</p> <p>○お互いが気持ち良く生活するために、自分たちにできそうなことを考えられるように、当事者の方が何に困ったり悩んだりしたのか助言する。</p> <p>○友達の考えを知り、自分の考えを広げられるように、グループで各自の考えの共通点や相違点を基に話し合いをするよう促す。</p> <p>○グループごとの話し合い活動の後、より多くの意見に触れることができるように、テキストマイニングを用いて、児童の考えを表示する。 【★一覧表示】</p>
<p>4 もし学級にトランスジェンダーの友達が入った場合、自分ならどうするかまたは、どうしていきたく話し合う中で、互いに気持ちよく生活するためにできることを意思決定する。(15分)</p> <p>S: 体は男性だけど、心は女性だからトイレは女子トイレでいいのかな。体が男性だからトイレは男性を使うべきなのかな。</p> <p>S: 体は男性だから着替えは男子と一緒にいい。ただ、本人が嫌がったらどうすればいいのだろう。</p> <p>S: 一人だけで考えても解決できないかもしれない。学校や社会全体で考える必要があるかもしれない。</p> <p>S: 互いに気持ち良く生活するためには、自分の意見や考えを相手に押し付けるのではなく、相手の考えを良く聴き、話し合いを通じて、解決していきたく。</p>	<p>○学校に性的マイノリティの児童がいるということが前提で発問をしていることを理解できるように発問の意図を伝える。</p> <p>○トランスジェンダーの友達を具体的にイメージできるように、「性別は男性、心は女性」であることを伝える。</p> <p>○日常生活の中で、どのようなことについて考える必要があるかを理解できるように、トイレや体育の着替えといった具体的な場面を提示する。</p> <p>○グループで交流する際、自分の意思決定をより確かなものにすることができるよう友達の考えで良いと思ったことを自分の考えに加えても良いことを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆目指す児童の姿(思)</p> <p>話し合い活動やワークシートの記述内容から、「互いに気持ちよく生活するために、自分はどうすれば良いかについて、話し合いで見つけた解決方法を参考にし、自分に合った具体的な解決方法を意思決定できたか」を評価する。</p> </div>

○多様な性の在り方や性的マイノリティに対して、自分事として自他の性の在り方についての違いを認め、尊重する意識を持ち続けられるように、継続的に自分の目標の振り返りを行うことを伝える。

<振り返り>

S：私は、性別は男か女かの2種類しかないと考えていました。実は、多様な性の在り方の考えをもっている人にすでに出会っているかもしれないし、その考え方をもっと知りたいと思いました。相手の考えを尊重し、受け入れることがとても大切なことだと思いました。しかし、実際に会ったら戸惑ってしまうかもしれません。今日の授業で考えた、これから自分ができることを少しずつ実践しながら生活していきたいと思います。

9 板書計画

11 / 28 学級活動

アンケート結果

めあて

互いに認め合い、気持ちよく生活するために、どうすればいいか考えよう。

○「男らしさ」「女らしさ」

○これから自分ができること
とやりたいことを考えよう